

◎ 排ガス

調査場所:1号系の煙突中央部

区分	単位	規制基準	(公害防止基準)	資料採取日			
				5月1日	7月31日	11月1日	2月1日
ばいじん(12%換算)	g/m ³ N	0.08	(0.005)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硫黄酸化物排出濃度	m ³ N/h	80前後	(5ppm)	<0.01 (<1)	<0.01 (<1)	<0.01 (<1)	<0.01 (<1)
窒素酸化物(12%換算)	PPm	250	(40)	10	1	9	14
塩化水素(12%換算)	mg/m ³ N	700	(10ppm)	6(4ppm)	4(2ppm)	4(3ppm)	8(5ppm)
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	1	(0.01)	0.0000066	0.000058	0.000086	0.0000048

* 塩化水素(12%換算:1.63mg/m³Nは、1ppm) 公害防止基準は(10ppm)以下で表示されています。(2号系も同じ)

* 硫黄酸化物濃度は、公害防止基準では(5ppm)以下で表示されています。(2号系も同じ)

* 公害防止基準値は、環境保全に努めるため、組合が設定した基準値です。

調査場所:2号系の煙突中央部

区分	単位	規制基準	(公害防止基準)	資料採取日			
				5月2日	8月1日	11月2日	2月2日
ばいじん(12%換算)	g/m ³ N	0.08	(0.005)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硫黄酸化物排出濃度	m ³ N/h	80前後	(5ppm)	0.01 (1)	<0.01 (<1)	<0.01 (<1)	<0.01 (<1)
窒素酸化物(12%換算)	PPm	250	(40)	12	2	18	13
塩化水素(12%換算)	mg/m ³ N	700	(10ppm)	11(7ppm)	7(4ppm)	6(4ppm)	7(4ppm)
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	1	(0.01)	0.0012	0.000055	0.000067	0.000085

◎ 熱灼減量(乾式換算)

調査場所:ストックヤード(1号系及び2号系の混合)

区分	単位	基準	資料引渡日												
			4月12日	5月9日	6月7日	7月7日	8月7日	9月8日	10月6日	11月7日	12月13日	1月17日	2月14日	3月12日	
溶融固化物(スラグ)	wt%	10	-	検出せず	-	-	-	-	-	-	検出せず	-	-	-	-
安定固化物(飛灰)	wt%	10	4.5	3.9	4.3	4.2	4.3	4.8	4.7	4.5	4.6	6.3	7.2	4.5	

* 溶融固化物(スラグ)は、約4回/月の採取した試料の混合を分析しています。

◎ ダイオキシン類

調査場所:ストックヤード(1号系及び2号系の混合)

区分	単位(毒性等量)	排出基準(以下)		資料採取日	
				5月1日	11月1日
溶融固化物(スラグ)	pg-TEQ/g	1000以下	土壤環境基準	0.016	0.35

区分	単位(毒性等量)	排出基準(以下)		資料採取日	
				5月2日	11月1日
安定固化物(飛灰)	ng-TEQ/g	3以下	埋立基準	0.37	0.61